



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年4月30日

上場会社名 株式会社enish 上場取引所 東
 コード番号 3667 URL http://www.enish.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安徳 孝平
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 高木 和成 TEL 03(6447)4020
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成26年12月期第1四半期の業績（平成26年1月1日～平成26年3月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	1,763	10.1	220	△46.2	219	△46.2	131	△47.7
25年12月期第1四半期	1,600	-	409	-	409	-	252	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	19.07	18.18
25年12月期第1四半期	47.86	37.96

（注）1. 当社は、第1四半期の業績開示を前事業年度より行っているため、平成25年度12月期第1四半期の増減率については記載していません。

2. 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第1四半期	3,772	2,974	78.8	429.90
25年12月期	4,022	2,994	74.4	432.82

（参考）自己資本 26年12月期第1四半期 2,974百万円 25年12月期 2,994百万円

（注）当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	-	0.00	-	22.00	22.00
26年12月期	-	-	-	-	-
26年12月期（予想）	-	-	-	-	-

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

平成26年12月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

平成25年12月期期末配当金の内訳 普通配当18円00銭 記念配当4円00銭

3. 平成26年12月期の業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,700	17.6	470	△34.6	470	△34.6	290	△34.5	41.92
通期	8,700	31.3	1,350	21.7	1,350	25.2	830	27.1	119.96

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期1Q	6,918,720株	25年12月期	6,918,720株
② 期末自己株式数	26年12月期1Q	-株	25年12月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期1Q	6,918,720株	25年12月期1Q	5,274,800株

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数（四半期累計）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、平成26年5月1日（木）に機関投資家・証券アナリスト向け説明会を開催する予定です。

この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、政府の経済政策への期待感から株式市場は上昇傾向、為替市場は円安傾向と一定の回復の兆しを見せ始めたものの、消費税率引き上げによる影響等、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社の事業領域である、ソーシャルアプリ事業を取り巻く環境につきましては、引き続きスマートフォンの契約数は順調に推移しており、また国内ソーシャルゲーム市場についても成長率の鈍化はみられるものの、ネイティブアプリケーション（注1）を中心に今後も拡大していく見通しであります。

このような事業環境の中、当社では当第1四半期累計期間においては新規タイトルのリリースはなかったものの、既存タイトルが安定して売上収益に貢献しております。また、新規タイトルのネイティブアプリケーション開発に積極的に取り組んでおり、当事業年度には5タイトルのリリースを予定しております。

また、国内だけでなく中国、韓国での展開を進めるために、開発・配信体制の構築に努め、グローバル展開による収益拡大を目指してまいります。

さらに、ゲーミフィケーション（注2）を活用したキャラクターアイテムの提供や0 to 0（注3）プロモーション活動も引き続き進めております。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高は1,763百万円（前年同四半期比10.1%の増加）、営業利益は220百万円（前年同四半期比46.2%の減少）、経常利益は219百万円（前年同四半期比46.2%の減少）、四半期純利益は131百万円（前年同四半期比47.7%の減少）となっております。

- （注）
1. ネイティブアプリケーションとは、特定のコンピューターの機種やOS上で直接実行可能なプログラムで構成されたアプリケーションソフトウェアのことをいいます。
 2. ゲーミフィケーションとは、ゲーム制作でのユーザーを楽しませるノウハウをゲーム以外に用いて、ユーザーの購買意欲や満足度を高めることをいいます。
 3. 0 to 0とは、Online To Offlineの略でゲームにおけるユーザーのモチベーションやロイヤリティを利用して、実店舗における購買活動に結びつけ、実店舗の集客支援につなげる仕組みをいいます。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期会計期間末の流動資産につきましては、前事業年度末に比べて334百万円減少し、3,187百万円となりました。これは主に、未払法人税等の支払いによる現金及び預金の減少（前事業年度末比448百万円の減少）によるものであります。固定資産につきましては、前事業年度末に比べて84百万円増加し、584百万円となりました。これは主に、本社の移転に伴う有形固定資産の増加（前事業年度末比131百万円の増加）によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ250百万円減少し、3,772百万円となりました。

（負債）

当第1四半期会計期間末の流動負債につきましては、前事業年度末に比べて252百万円減少し、733百万円となりました。これは主に、未払法人税等の支払いによる減少（前事業年度末比265百万円の減少）によるものであります。固定負債につきましては、前事業年度末に比べて22百万円増加し、64百万円となりました。これは、資産除去債務の増加によるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ230百万円減少し、797百万円となりました。

（純資産）

当第1四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末に比べて20百万円減少し、2,974百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加（前事業年度末比131百万円の増加）があった一方で、配当金の支払いによる利益剰余金の減少（前事業年度末比152百万円の減少）によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期につきましては、開発体制の強化ならびに国内ソーシャルゲーム市場の成長から飽和に向けた対策として、日本、中国、韓国の3カ国市場における展開を進めてまいります。具体的には日本、中国、韓国の3カ国での開発・配信体制の早期構築により、開発ライン及び体制の拡充と、ネイティブアプリケーションのリリースを図ることで、グローバル展開による収益拡大を目指してまいります。

また、今後のトレンドの変化に備えたゲーム開発として、多様なゲームシステム・ジャンルへの展開を進めていく所存です。

国内におきましては、既存タイトルのプラットフォームとの協力体制の維持による、効率的に収益を最大化する方針を継続し、また引き続き0 to 0における業務提携先との連動の強化により、ビジネスモデルの領域拡大を模索してまいります。

以上を踏まえた平成26年12月期の業績予想につきましては下記のとおりとなります。

第 2 四半期累計業績見通し (平成26年 1 月 1 日～平成26年6月30日)

売上高	3,700百万円 (前年同四半期比17.6%の増加)
営業利益	470百万円 (前年同四半期比34.6%の減少)
経常利益	470百万円 (前年同四半期比34.6%の減少)
当期純利益	290百万円 (前年同四半期比34.5%の減少)

通期業績見通し (平成26年 1 月 1 日～平成26年12月31日)

売上高	8,700百万円 (前事業年度比31.3%の増加)
営業利益	1,350百万円 (前事業年度比21.7%の増加)
経常利益	1,350百万円 (前事業年度比25.2%の増加)
当期純利益	830百万円 (前事業年度比27.1%の増加)

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,458,501	2,009,909
売掛金	811,031	773,433
その他	253,154	404,650
流動資産合計	3,522,688	3,187,993
固定資産		
有形固定資産	121,937	253,260
無形固定資産	24,668	23,880
投資その他の資産	353,291	307,016
固定資産合計	499,898	584,157
資産合計	4,022,586	3,772,151
負債の部		
流動負債		
買掛金	115,544	95,182
未払法人税等	419,838	154,072
その他	450,916	484,218
流動負債合計	986,299	733,473
固定負債		
資産除去債務	41,706	64,346
固定負債合計	41,706	64,346
負債合計	1,028,006	797,819
純資産の部		
株主資本		
資本金	864,938	864,938
資本剰余金	863,938	863,938
利益剰余金	1,265,702	1,245,454
株主資本合計	2,994,580	2,974,331
純資産合計	2,994,580	2,974,331
負債純資産合計	4,022,586	3,772,151

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	1,600,980	1,763,372
売上原価	961,573	1,250,972
売上総利益	639,406	512,399
販売費及び一般管理費	230,134	292,386
営業利益	409,272	220,013
営業外収益		
受取利息	51	152
営業外収益合計	51	152
営業外費用		
為替差損	275	289
営業外費用合計	275	289
経常利益	409,048	219,876
税引前四半期純利益	409,048	219,876
法人税、住民税及び事業税	186,589	150,323
法人税等調整額	△30,017	△62,409
法人税等合計	156,571	87,913
四半期純利益	252,476	131,963

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、ソーシャルアプリ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。